

【Aadva ジルコニア 2 ピースアバットメント接着手順について】

(株)コアデンタルラボ横浜 Aadva CAD/CAM 加工センター

※接着に使用するレジンセメントに関して、ジーシー社製「G-ルーティング」の使用をお勧めいたします。被着物へのプライマー処理が不要なためセメント操作が簡便であり、テクニクエラーによる接着不良のリスクを少なくすることができます。

【接着手順】

①接着前にジルコニアトップの調整(形態修正, 研磨等)を終わらせておいてください。また, 調整後はアバテクニカルガイドに基づく熱処理(1000℃, 15分)を行ってください。

※接着後の形態修正や研磨は接着不良・強度低下の原因につながる可能性があります。

②ジルコニアトップ, および, チタンベースのレジンセメント被着面をサンドブラスト処理してください。
(粒径50μ m, 2~2.5気圧)

※レジンセメント被着面以外の部分に関してはマスキングを行い, 傷がつかないように保護してください。

③エタノール中で5分間, 超音波洗浄し, 被着体表面の異物(ブラスト粉, 切削粉, 油膜, 等)を除去してください。また, 超音波洗浄後は油煙を含まない清浄なエアールにて十分乾燥してください。

※強固な接着を得るためには清浄な被着面が重要となります。

④チタンベースのアクセスホール内に余剰セメントが侵入しないよう, ワックス等でアクセスホールを封鎖してください。この際, 手指の接触, ワックスの付着等で被着面が再汚染されないように気をつけて作業を行ってください。

⑤レジンセメントをジルコニアトップ, チタンベース両方に塗布した後, ジルコニアトップとチタンベースを組み合わせて手指で軽く押さえて保持し, 接着してください。レジンセメントを仮重合した後, 余剰セメントを軽く除去してください。

※仮重合の方法, タイミング等に関してはご使用のレジンセメントの使用説明書に記載の方法に従って行ってください。

⑥レジンセメントを光重合器等で重合させた後, シリコンポイント等を用いて余剰セメントを完全に除去してください。

⑦23℃~45℃の環境にて12時間以上静置してレジンセメントを完全に重合した後, インストゥルメントやスチームクリーナー(連続使用は10秒間以内)を用いてアクセスホール内のワックス, および余剰セメントを除去してください。

※スチームクリーナーによるワックスの除去の際, 長時間(連続で10秒以上)スチームを当て続けるとレジンセメントが高温となり, レジンセメントの変質による接着力の低下を招く恐れがございます。スチームクリーナーをご使用の際は, レジンセメント接着部が長時間高温にならないように注意して作業を行ってください。

⑦表面をエタノール中などで超音波洗浄した後, 十分に乾燥し, 口腔内にセットします。

※オートクレーブや滅菌や乾熱滅菌などはレジンセメントの変質の原因となるため, 接着不良・強度低下の原因につながる可能性があります。滅菌は薬液滅菌(塩素系, 過酸化系などの腐食性薬品を除く)で行ってください。